

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

164号

★ 2014年12月25日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 景観市民ネット 12月市民集会の報告

12月13日(土)午後、狛江市の泉の森会館で、年に一度の景観市民ネットの市民集会有りました。各地で起きている問題は多岐にわたり、大変参考になりました。

第2部ではまちづくりと税制(相続税を中心に固定資産税、都市計画税等)についてと題して元国土交通省都市局局長の加藤利男氏の講演がありました。常盤台のような住宅地はいくら環境保全に努力しても、相続税などで破壊されていくことが議論されました。

常盤台からはこの緑の「まちづくりニュース」について、マンション反対運動から地域に情報を伝える手段として誕生、継承されていることを報告しました。

ただ、高齢化の波には抵抗できないので、当初から分担している皆さんの負担を軽くするために、30枚でも40枚でも近所に配るぐらいいいよ、と言う方はご連絡ください。ぜひお願いします。

○ 常盤台の街案内

今年は東上線100年記念の年にあたり、色々なイベントがありました。

常盤台の景観を守る会でも「ギャラリー一服部」で東上線に関する展示を行いました。板橋区でも東武博物館の花上さんの講演を企画、注目の南宇都宮の駅舎と常盤台駅についても言及がありました。

またその企画の一環として、常盤台の街歩きがあり、生涯学習課の依頼で景観を守る会の会員2名で文化財になりそうな古い家を中心に案内しました。前野町や常盤台の人が多かったのは意外でした。

○ どこに、どんな図書館をつくるか、 中央図書館への提言をまとめましょう

図書館を既存の設備のまま使い続けることは困難で、現在の場所での建て直しでは、半減する規模の観点から、この街に必要な機能だけに整理をする必要があります。

常盤台公園で地域館として存続を望む声が強いのもの、その場合、区全体でみれば蔵書や閲覧席は減り、図書館サービスは低下する可能性も出てきます。

区の方針では、移転先の検討範囲は、ときわ台～上板橋エリアの区有地との説明でした。常盤台の住宅地からは離れた場所になる可能性もあります。

2回のワークショップと図書館長を交えての話し合いを経ても、移転場所やどのような機能を盛り込むかなどのが具体的にまとめられる段階には至っていません。

行政が方針を決定する前に、いま一度、どこにどのような図書館が望ましいのか、地域の利用者の意見をまとめる話し合いをしましょう。

日時：2015年1月17日(土)
午後3時から
場所：常盤台一・二丁目町会事務所

住民の意思をきちんと行政に伝えましょう。

帝都幼稚園が文化財に

一丁目の帝都幼稚園の園舎と門柱が板橋区の登録文化財になりました。

常盤台が分譲された時、今の常盤台小学校の場所には帝都学園高等女学校の木造二階建ての校舎が建っていました。成城や国立のような学園都市としての構想もあったのかもしれない。漏れてくる鼓笛隊の練習の音を懐かしむ人もいました。

ところが終戦の翌年の昭和二十一年(一九四六年)、漏電で出火、校舎の三分の二を焼失してしまい、女学校は廃止となりました。

焼け残った校舎を引き屋して作られたのが帝都幼稚園なのだそうです。ペンキで塗っていますが、木造の壁や床に当時の面影があります。

門の両脇にタイル張りの丸い門柱が立っていますが、武井武雄という童画家がデザインしたものです。武井(一八九四〜一九八三年)は長野県の現岡谷市生まれ、南常盤台に昭和二四年(一九四九年)五十五歳のころ住んで一搦庵と称した人。この門柱は昭和三十三年の卒園生の依頼でデザインしたそうです。

園舎と門柱は二〇一四年、板橋区の登録文化財に指定され、門の脇に詳しい説明が表示されていますので、見に行ってください。

園舎も昔懐かしい木の感触ですが、園庭を取り囲んでいる三本の桜も常盤台の歴史を刻むものです。帝都女学校のころからあったこの木々は、幹は苔むし、かなりの老木の風情ですが、嬉しいことに毎年変わらず美しい花を見せてくれます。

「縦覧」とは？

問題になっている都市計画の変更「絶対高さ制限と敷地の最小限度」についての縦覧が十二月十一日〜十五日都庁と板橋区役所内でありました。とても大事な都市計画なのに、訪れる人は殆どいません。私たちもこうして過去に大事な街の変化を知らないで来たのでしょうか。

この縦覧という制度も、周知を図る方法としては形骸化しているように思われました。

係りはせっかくの努力を見て欲しいと言っていました。関係業者も事前に知っているのでしょうか、意見も出さないようです。もっとも常盤台の場合、既存不適格の建物がゼロなので、文句など出るはずもないのです。

都市計画審議会は一月八日(木)一時半から。

オレオレ詐欺関連

オレオレ詐欺(振り込め詐欺とか母さんなんかなど異名はありますが、一般的なのがこの呼称のようなので、これで通します)の被害は、常盤台でも多いそうです。

ある家では警察から、オレオレ詐欺で捕まったグループの持っていたリストにお宅の電話番号があったから注意するように、という連絡がありました。

たとえ愛する息子や孫からの哀訴の電話であっても、自分で解決させるのが本当の愛情かもしれません。確認しないうちに決して現金を渡したり、送金したりしないように自己防衛してください。誰かに立ち会ってもらうのも一つの方法です。

常盤台公園のはなづくり

今年は皇帝ダリアがあちこちの家の垣根越しにきれいに咲いているのが見えました。公園では残念ながら適当な場所がなかったようです。何度かお伝えしているように、夜間の照明のあるところではこの花は咲いてくれません。

照明がストレスになるのは、クリスマスの時期に多い樹木のイルミネーションも同じです。私たちはきれいな光景を楽しんでいます。沢山の電線を巻きつけられて、いくら熱の出ないダイオードだとしても、夜は人間と同じに眠りたいのではないのでしょうか。何も語れない木々に気持ちを聞いてみたいものです。

人間も太古の昔から夜は休息をとるように身体の仕組みができています。

東京都では前代と前々代の知事が導入した、二四時間運行のバスが廃止になりました。これは採算が取れなかっただけでなく、良い判断だったと思います。石原都知事はギャンブル導入に執着していたので、その布石として深夜バスを営業したかったのでしょうか。ギャンブルはもちろん、命に関わることもないのに、夜中まで誰かが働いていなければならぬ社会は不健全なものだと思います。

バスの運転手などの立場の人が、自分の健康や家族とのつながりを犠牲にして働いているのを横目で見ながら、幸せな気分になれるでしょうか。